第 1 回 (2017.4.11)	『大学図書館の魅力と研究活動』 引原隆士教授（工学研究科・図書館機構長）

第 1 回：講義
- 場　所：学術情報メディアセンター南館 303
- 出席者：受講者 27 名　演習補助者 6 名
- 配布物：PPT 講義資料(A4 両面 4 枚)、授業日程・講義構成(A4 両面 1 枚)、
- 演習補助者紹介資料(A4 片面 1 枚)、アンケート(A4 片面 1 枚)

授業の目的（附属図書館 北村准教授より）
- この授業の目的は、図書館利用を中心とした文献・学術情報検索についてのスキルを獲得し、それを活用してプレゼンテーションやレポートの形で発表できるようになることである。

＊＊＊ 引原教授講義＊＊＊

講義の目的と内容

目　的：高校時代の図書館や公共図書館とは異なる、大学図書館の魅力と研究活動を理解する。
- 内　容：研究に向けて大学図書館が持つ意義と価値を考える。また図書館資料の概略
- や特性を理解する。

学生にとっての図書館とはどのような場か？

資料と出会う場以外にも、静かに思索する場、コミュニケーションの場、研究のスキルを知る場など多様な機能を持ちうる。

図書館の成り立ち
- 図書館の起源は、文化を移設して発展させていくということにある。古代アレキサンドリアの図書館はギリシャの知識を学ぶ場として設立された。
- 図書館は、ヨーロッパでは教会の神学資料室として、日本では藩史編纂所として発展してきた。どちらも資料を集めて解釈し、知識を共有する場として始まった。

様々な形の図書館
- 図書館には様々な形態がある。専門的な研究や調査を支えるための研究図書館や、地域の人々のための公立図書館、また近年は公立図書館と書店が融合したような施設などもある。
- いずれの図書館でも、それぞれの目的に合った雰囲気を作るために、デザイン性を高める工夫がなされている。
- 利用者がまた訪問したいと思える空間を作るために、デザインは重要な機能を担っている。

図書館の役割の変化
- 書物における第一の革命として、印刷技術の登場により、書物が爆発的に流通するようになったことがある。
- 現在は、インターネットの普及により電子的情報が爆発的に増える第二の革命の時代にあり、図書館の役割も大きく変化しつつある。
- 情報過剰な現代においては、本当に正しい情報は何かを分析するキュレーターとしての役割も図書館には求められる。

京都大学図書館はどのような場所か？
- 50 以上の図書館/図書室で構成されている大きなネットワークである。
- 学習室 24、共同研究室、ラーニングコモンズのように、自学自習、読書、議論と多様な活動ができる空間となっている。
- 野口英世の博士論文や解体新書等の貴重な資料が保存されている。
- 学習サポートデスクのように、論文・レポートの書き方が学べる場所である。

研究活動とは
- 資料として論文が生まれたのは、17 世紀である。
- 論文は内容の先手権を日付で管理・保証するというシステムを作り出した。
- 先取権の保証から先行研究へのリスペクトという概念が生まれ、先行研究を調べるデータベースが発展した。
- 何か発見があれば、アイデアの段階でも世に出すべきである。世に出さなければ、あとで自分も考えていたと言っても遅い。
- 大半の研究は、前の研究を僅かに広げただけの研究（1m を 1mm のばす）が多いが、その延長線上にパラダイムシフトはない。
- せっかくなら、パラダイムシフトを起こすような新しい視点に立った研究に力を注いでほしい。

研究と学術資料の今後

- 最近特に注目されているのは、論文のオープンアクセス化という取り組みである。
- オープンアクセスとは、インターネットを通じて論文を誰もが無料で閲覧可能な状態におくことを指す。
- 日本では 2013 年 4 月から博士論文の電子公開が義務化された。大学での研究は公共の財産という認識がある。学生 1 人 1 人の育成には多くの費用が投じられており、それによって得られた知識や結果は皆に還元すべき、という発想は根本的に必要である。
- 上記を踏まえて、京都大学は 2015 年 4 月にオープンアクセス方針を制定している。arXiv というサイトでは、主に物理学や数学などの分野のプレプリントを含む様々な論文が保存されている。
- 論文を書き上げると同時にオープンにし、正しいかどうかの検証はあとでパブリックな形で行うという発想がある。
- ポアンカレ予想の解決や ABC 予想の解決も、このような形でまずオープンになった。
- 論文のオープンアクセスから、データなども含めたオープンサイエンスへと、オープン化への動きは広がっている。
- これまで大学図書館は学術界の要望に応えて変わってきたので、オープン化という流れを受けて、今後も変わっていく。
- 受講生もどんどん要望をだして、図書館を変えていくとよい。

＊＊＊ その他 連絡事項 ＊＊＊

- 第 1 回アンケートの記入・提出のお願い。
- 期限内に履修登録を行うこと。
- 授業日程に使用教室が記載されているが、回によって教室が変わるため要注意。

(記録：小松原　記子)